

所蔵のものを使用しました。CPTEC の J. A. Marengo さんからは、最近の friagem 事情を教えてくださいました。以上の皆様に感謝したいと思います。

略語一覧 (和訳は筆者による)

- COMA : Centro de Observações e Medidas Atmosféricas (大気観測計量センター)
 CPTEC : Centro de Previsão de Tempo e Estudos Climáticos (天気予報気候研究センター)
 GOES : Geostationary Operational Environmental Satellite (静止気象衛星 GOES)
 INPE : Instituto Nacional de Pesquisas Espaciais (ブラジル国立宇宙研究所)
 SACZ : South Atlantic Convergence Zone (南大西洋収束帯)

参 考 文 献

Kodama, Y., 1992 : Large-scale common features of subtropical precipitation zones (the Baiu frontal zone, the SPCZ, and the SACZ), Part I : Characteristics of subtropical frontal zones, *J. Meteor. Soc. Japan*, **70**, 813-836.
 Kodama, Y., 1993 : Large-scale common features of sub-tropical convergence zones (the Baiu frontal zone, the SPCZ, and the SACZ), Part II : Conditions of the circulations for generating the STCZs,

J. Meteor. Soc. Japan, **71**, 581-610.
 児玉安正, 1996 : ブラジル INPE, CPTEC, USP 訪問記, *天気*, **43**, 359-361.
 国立天文台編, 1999 : 理科年表, 第72冊. 丸善, 1058pp.
 小柴 厚, 1997 : 1996年世界の天候, *気象*, **41**(2), 34-38.
 Marengo, J. A., C. A. Nobre and A. D. Culf, 1997a : Climatic impacts of 'friagem' in forested and deforested areas of the Amazon basin, *J. Appl. Meteor.*, **36**, 1553-1566.
 Marengo, J. A., A. Cornejo, P. Satyamurty, C. A. Nobre and W. Sea, 1997b : Cold surges in tropical and extratropical South America : The strong event in June 1994, *Mon. Wea. Rev.*, **125**, 2759-2786.
 松山 洋, 1999 : ブラジルからの手紙, *天気*, **46**, 163-166.
 斎藤 功, 松本栄次, 矢ヶ崎典隆, 1999 : ノルデステープラジル北東部の風土と土地利用一, 大明堂, 334pp.
 サンパウロ/リオデジャネイロに暮らす編集委員会, 1994 : サンパウロ/リオデジャネイロに暮らす, 日本貿易振興会 (ジェトロ), 256pp.
 鈴木秀夫, 1975 : 風土の構造, 大明堂, 161pp.
 Xie, P. and P. A. Arkin, 1997 : Global precipitation : A 17-year monthly analysis based on gauge observations, satellite estimates, and numerical model outputs, *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, **78**, 2539-2558.
 山本 哲, 2000 : 日本における濃霧による視程不良害発生気候学的特徴, *自然災害科学*, **19**, 印刷中。



Second International Conference on Fog and Fog Collection
 (第2回霧と霧水捕集に関する国際会議) 論文募集

会 期 : 2001年7月15日(日) ~ 20日(金)
 会 場 : カナダ・セントジョンズ (ホテル・ニューファンドランド)
 主なテーマ : 霧の物理, 化学, 気象学, 予報, リモートセンシング, 霧の沈着と植生との相互作用, 露の研究, 発展途上国における霧水捕集プロジェクト, 沿岸海洋での人間活動に及ぼす霧の影響 (特別セッション)
 アブストラクト締切 : 2000年9月1日必着. アブスト

ラクトには審査がある. 執筆要領, 送付先 (下記と異なる) などは下記に問合せのこと.
 web サイト :
 URL : <http://www.tor.ec.gc.ca/armpp/fog/icffc2.html>
 連絡先 : Dr. Robert S. Schemenauer (Conference Chair)
 Second International Conference on Fog and Fog Collection, P. O. Box 81541, 1057 Steeles Avenue

West, Toronto, Ontario, Canada M2R 2X1

Fax : 1-416-739-4211

E-mail : robert.schemenauer@ec.gc.ca.

国内連絡先 : 山本 哲 (a member of the Science Committee)

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所環境・応用気象研究部

Tel : 0298-53-8619 Fax : 0298-55-7240

E-mail : ayamamot@mri-jma.go.jp

参考事項 : 第1回会議について井川 (1999), 山本・大河内 (1999) の報告があるので参照されたい。

(気象研究所・山本 哲)

参 考 文 献

井川 学, 1999 : 「第一回霧と霧の採取に関する国際会議」報告, 大気環境学会誌, 34, A21-22.

山本 哲, 大河内 博, 1999 : 第1回霧と霧水捕集に関する国際会議参加報告, 天気, 46, 377-383.

編集後記 : 日本気象学会会員は, 1999年12月16日現在で4742人 (うち通常会員4208人) となっているそうです。昨年の天気2月号に掲載された会員名簿を見ると, 大学や各施設の気象関係の研究者の方, 気象庁職員等国や地方の公務員の方, 小・中・高校の先生をしている方, 気象関係の会社に所属している方, みなさん様々な職業をもたれているんだということがわかります。

私はその中では, 気象庁職員のグループに属し, 産業気象課というところで, 気象庁から外へ向かって出てゆく気象情報に関した仕事をしています。(仕事のあと, 時々天気の校正作業に追われていることもありま

すが,) また, 気象予報士関連の業務も行っているのです。気象会社の方や気象予報士の方と接する機会もあります。

そうした方々のお話を聞いていると, 各気象会社の現場の方からの投稿がもっとあれば, 天気も厚みが増すのではないかと感じます。

現場の方からの報告や調査結果というのは, 読者にとっても, とても興味深いものだと思うからです。

天気は多くの方からの投稿で成り立っています。是非一度投稿にチャレンジしてみてください。お待ちしております。(板東恭子)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)

藤部文昭(理事)・植田宏昭

大野滋規・小田切さやか

大淵 濟・木下 仁・小出 寛

小司禎教・住 明正・田口晶彦

高橋 宙・中村 尚・新村典子

板東恭子・本田有機・別所康太郎

水野孝則・水野 量・安田宏明

山本 哲

地区編集委員 北海道 北見康男・上田 博

東北 栗原弘一・早坂忠裕

関東 河原幹雄

中部 岩坂泰信・坪木和久

関西 半澤洋一・山中大学

九州 迫田優一・中島健介

沖縄 豊見山 浩

編集書記 遠藤和子